

# 中和田教会だより

## ジュリア祭巡礼

主任司祭 宮下神父

おたあジュリアは朝鮮生れ。カトリック信者として成長し徳川家康にも信用あるお方でした。禁教令が出ても信仰を捨てなかつたために伊豆の神津島に流され教会もない神父も居ないミサもない淋しいところで殉教精神をもつて生きぬいた女丈夫です。初年征の島生活の後天に召されその墓は島の中の流人塚の中にあります。一年に一度島を訪れて、おたあジュリアのため他の流人のため島民のために冥福と神の祝福を祈ることはまことに意義ある催しだと思ひました。

ジュリア祭の巡礼が初めて今年は四月廿日、ロマ大使ガスベリ大司教、港尾司教、外朝鮮から司祭2名、信徒数名、日本各教区から司祭2名、位と汚徒共全員約20名位を乗せた渡洋汽船「竹島」を橋を19日(土)の夜、時に出航。翌朝5時、神津島に着。各々別れて民宿にて朝を待

昭和五十四年五月二十六日  
戸塚区中和田町二七。一  
中和田教会広報委員発行

朝食10時にジュリアの墓のある流人塚の近くの広場に全員参集。ロマ大使大司教を中心に25名の司祭の共同ミサ。ミサ後生花一本を手にして流人塚へ行列しジュリアの墓の前に献花としてお参り。盛大な儀式を終りました。夕刻には讚美集会、民芸、キャンデル、サーカス、花火、昇壇、押津島では五月の才三日月はジュリア祭と云うて島の六次行事の一つになつており今年も十周年と云うので島をあげての催しでした。  
21日(月)は朝福社会館にて2時前日と同じ意向で共同ミサ。午後一時に乗船して夜の9時、竹島さん橋に着きました。住居とも天気は良く波もうねりもなくおたあが船旅でした。



ジュリアの墓標

### よろこびの初せいたい

初聖体をうけた子供達のよろこびの声が集まりました。みんなていようびの拍手を贈りました。

はつせいたい

ヨセフ 田中竜門  
ぼくは、今、教会学校二年生です。一年のときからぼくはつせいたいをうけたと思います。一年生の時はつせいたいをうけるべん強を、いっしょうけんめいしました。はつせいたいをうけてうれしかつたです。いっしょに生きていきたいと思います。

はつせいたい

テレビアタケだ いゆん、わたくしは、はじめのほんとうのつせいたいをもちつたとき、わたしたちは三つぬがいのことをしました。一つは、きょう会がたくさんで

## 山手地区聖体大会

六月十七日(日)午後二時

横浜雙葉女学園講堂

### 十 祈ろう

呼びかけよう  
応えよう

### 委員会報告

五月十日(金)開催  
一 バザーの件  
役員分担決め、及び五月十日(金)バザーの準備、役員と委員の最終打ち合せ実施。  
二 夏季学校の件、検討  
三 四月度会計報告  
婦人会だより

### 新緑の美しい季節となりました

四月十八日(水)四月二十六日(木)を以て五月十七日(木)に行われたバザーのため、の奉仕日には皆様お忙しい中をいろいろお手伝いして下さり、ありがとうございました。  
四月十九日(金)と五月二十日(土)にはそれぞれ九時と午後婦人会の例会が開催され、多くの方々のご

きますように、もう一つは、わたしがいいことありますように、とちとうさんの足がらまめがなおりますように、イエスさまにたのみました。かみさま、まいにちまいにち、ありがとうございました。わたしは、おいのりをたくさんして、よいとらでいようになるように、おまもりください。そして、かみさまが、せかいじゅうの人たちを、まいにち、けんさで、かみさまと、いっしょに、いる人に、みんなして、ください。  
はつせいたいをうけて

テレビア 大原まさえ

わたしは、うれしかったです。どうして、という、わたしは、りつは、なおとなになったかんじがしたかつ、ほんとうにうれしかった。そして、パーティーに、た、ケーキが、おいしいから、おかわり、しようとしたら、ないから、おかわり、できなかった。たのしい一日だった。

テレビア セウウ マリ

わたしは、四月のふかつせつ、のとき、はつせいたいをうけました。どうも、うれしかったです。また、いるとき、きどき、ききました。きれいなドレスと、ベールをかぶって、まえて、わたしの、うれしかった。はじめ、かみさまの、からだを、いたいた、ことが、うれしかった。これから、よいことになり、いと、おもいました。

# 中和田教会だより

## 子供が体でおぼへる ように

主任司祭 宮下神父

子供に教理を教へ良い信者として成長するように導くことは最も大切な愛徳の一つであり特に信者の両親に委ねられた義務であります。洗礼を受けたものには神の生命と神の子として生きる恵恵が与へられております。神の心としてイエス様の御聖体といたされた者の体と心の中にイエス様がお住いになり、その人もイエス様の中に生きるとは、イエス様の御心の中にあります。そうすると信者は皆思者言行共にイエス様に似たものになるはずですがなかなかそうも行かないようです。此の眞理は多くの信者にとって頭腦の先でわかつて居ても気持ちも行動もその方向に向かないようです。体で理解しないし腹でわかつていないからでしょう。先ず個人個人自身で信仰について物事を考へ処理す

昭和五十四年六月十三日  
戸塚区中田町ニセロ一  
中和田教会広報委員発行

るような信者として信仰によって考へ行動するようになり自身を鍛練するようになり心掛けるよう。良い方法の一つはキリストの御生涯の「コマ」を考へながら「ロザリオ」を誦へることです。頭でわかつて居るものが腹の底からわかって自分から進んで信仰を行動に表わすように。

人は幼少の時には本能的に必要なものを探りますが信仰の眞理は教へられて初めてわかるもので教へ導かなければ信仰の芽生へはしません。親が正しい信仰の行動を子供は当然と思い、親が祈りをすることから子供は祈りをすることのあたりまへの行いと思つて居るようになります。子供と一歩に神様とお話すること毎日生かすのに必要で恵みと共に信仰に主とする恵みをお願ひすること毎日の恵みを感じること、神様であるイエス様のことを考へて沈黙することと表わすだけ「ロザリオ」を誦へること等を努力してつとめまわすように。健康の時平和の時に祈りの習慣をつけて置かないことは幸の時特に臨終の時に祈ることは非常にむ

## バザールを終えて

副委員長 萩原政弘

去る五月二十七日多くの方々の御協力により中和田教会のバザールが無事終了致しました。当日は雨降直前に一時雨が降り出し心配されましたが幸いなことにバザールが始まる頃には晴天に恵まれました。雨降って地固まると思つて下さる方が宮下神父様はじめ壮年会婦人会

## バザールが終わって

婦人会会長 阿部映子

朝の雨の降に洗われた緑のあざやかな目に、マリア様の月夜様の日曜日、神の恵み、下恵めと神父様の御教へ心な呼かけにより当教会恒例のバザールは成功のうちを終る事が出来ました。婦人会の方々の活発な動きと共に壮年会も負けず劣らず、すばらしい活躍ぶり、私共の味覚を堪能させてくださいました。準備期間が短すぎるとか焼くバは壮年会に任せ、大丈夫なのか、昇色、細に配もあつたようですが、皆様方多くの御協力と支えにより、大きな成果をおげることが出来ました。本当にありがとうございました。今年のパザールほど私共教会信者の一致を印象づけたことはなかったのでは無いでしょうか。心より皆様に感謝しつつ奉仕されるよう奉仕する幸せを喜びたいと思ひます。

## 六月婦人会例会

六月二十四日(日)九時、サ後バザール反省会及び古着交換会を開催します。来年のバザールを増々楽

しいものにするため皆様の御意見を是非お聞かせいたしたいと思います。お待ちしております。

## バザール収支報告

財政委員 甲斐至信

共益	273,200	代	15,000
収	291,908	刷	62,080
金	20,528	札	10,360
金	19,010	費	17,789
金	30,000	計	105,227
金	74,425		
金	15,000		
金	727,131		
益	621,904		

## 婦人会収支上利益

堂	69,135	堂	(計、札、ホトトギ)
手	101,178	委	わたかし
出	62,860	託	(野菜、卵、洋品)
楽	17,845		
委	40,890		
計	291,908		

四月会として信者お一人お一人の御儘力、戸塚教会をはじめ近隣教会の御協力、更には未信者の方の御好意、毎度のことながら本堂に多くの方々からの善意に満ちた御支援によりて本年もまた中和田教会のバザールは成功裡に開催することができました。年々教会の近所の方々にも中和田教会のバザールが行われることが知れわたるに、楽しみにしておられる方もいるように聞きおよんでいます。結果は予想を上回る昨年以上の収益を収め得たわけですが、私共は収益の多寡ではなくバザールを行うことによりて皆が一つの目的に向つて一致協力して努力することは信者である私共が皆神の子として天國に向えられる努力する姿と通じるものがあると思っております。今回のバザール開催に当って関係頂いた皆様の方々の御好意と善意に心から感謝の祈りを御捧げ致します。今後中和田教会が地域社会における精神的支柱としてますます発展していくことをお祈り申し上げます。以上。

TEL 804-1-0231に変更

遠足の思い出

遠足

六年

鈴木 ゆり

わたしは五月十三日に学校のバスで遠足に行きました。はじめはななのでよくわがかりなものでみんなに聞いていきまいた。まず教会から三十分ぐりあるところまでバスにのりました。そのバス停のなかにはな人と田畑のあるところがありました。わたしはこんな所はじめてなので、ななと語り合っていました。それらバスでアスレチックまでいきました。思ったより楽しんでいました。それからはなかにけいりせつせんをけめてはいます。

はじめはとても簡単でした。でもとてつうのおたんごめたいのがあるところまで歩いて頭がうらぐらぐなりました。それからはななと語り合っていました。それらバスでアスレチックまでいきました。思ったより楽しんでいました。それからはなかにけいりせつせんをけめてはいます。

さういふ方をやめていきました。やめているときおトイレにいきたくなつたけどもうすぐ終わるからといつてがんばりました。でもあまりむづかしいとはうはうしてきつたので、それきつたので、むづかしいのはやめました。

これと言つてついたらときはとてもきもちがよかったです。そしていそいでトイレにいきました。夜はねむくなるまで神様とお話をしました。わたしは神様のなかでみんなふじにいかに思います。終りました。こんどいきたいと思います。

アスレチックへ行つたこと

六年

古田 広子

母の日に教会でアスレチックに行きました。行く前の日から楽しみにしていました。でもお母さんはお弁当を準備しなければいけないのでいろいろと大変でした。教会のミニサが終わつてみんな外になつて行きました。教会からバス停まで歩くのがみんな大変だつたみたいです。私もバス停まで歩いて歩いてきました。こんなにつかれましたアスレチックで遊べるか、と少し心配しました。やっとアスレチックへ着きました。アスレチックにはどんな遊びものがあるのかな、もしかしたら私に出来ないものもあるかもしれないと思つて少し不安になつてきました。

やっとアスレチックの中に入つて一かっ噴番にやりました。一は以外と簡単でした。最初の方は簡単だつたけれど、おむすび何と何というのか一番むずかしいかつた。あとほかのは大体出来たけど、今にも落ちたおむすび、おむすびのかわいさ、私はもうきつたのかと、何と何をかき来たから、ああよかったと安心しました。でもまだいくつかがおむすびがありました。落ちたおむすびのは神様がきつと助けてくれたんだと思つて神様に感謝しました。

一番おもしろかつたのはターザンみたいなのです。またやりたいと思つたけど他の人が出来なくなつたので、かわいさつたからやりませんでした。出来なかつたのも、さういふおむすびがありました。今度アスレチックへ行つて機会があつたら今度こそ全部やつてみたいと思つています。

だけれども、けいりせつせんをけめてはいます。だけれども、けいりせつせんをけめてはいます。だけれども、けいりせつせんをけめてはいます。

おわり

# 中和田教会だより

号昭和五十四年七月二十一日  
戸塚区戸塚町三〇一  
中和田教会広報委員会発行

## 子供に伝へる信仰の遺産

主任司祭 宮下神父

私達信者にとって日曜日は神の日であり、神にお仕へするたのみにあつてあつてありませぬ。神の御霊は、ミサのおきてから、日曜日は、ミサのほかに、時間前少くとも十分前に聖堂に入り、御聖体のイエズス様を御挨拶申し上げ過ぎた一週間の御霊を感謝して次の一週間の信仰生活に必要なお恵みをお願ひ致します。更に聖体は天国に居られるイエズス様と同じ御着であり地上に居られた時、弟子達に私に居るといふので、あなたもかた共に居るといふのを、イエズス様御自身です。厚い信仰をもつて、み前に出るようにつとめよう。

信仰によるイエズス様は私達がみ前に出るのを待つて居り喜んで三度して居られることを

らせ下さい。

御病気で聖夏病院に入院されておりました下村様が先日悪事退院されました。皆様のたくさんのお祈りありがとうございませぬ。

さて最近教会のお掃除の人数が少なく都合により欠席された場合など困ることもありますので、お子様が成長されてお手伝いのできそうな方は一月に一回ですのでぜひ御助力をお願ひ致します。

なお八月の聖母の被昇天の祝日の前に教会の床がきとワックスかけの仕事があります。日時が決り次第電話連絡を致しますので御都合のつく方はよろしくお願ひ致します。

六月の例会のあとに行われまいに古着の交換会では一万円余りの売り上げがありました。ことと御報告致します。

暑々厳しき折ですが家族と共に祈り汗を流し楽しくよい夏休みをおすごしになりますように。以上

紹介 左記の方が七月より婦人

会にお入りになりました  
マリアテレジア  
伊藤 綺位子

考之信仰によつて親しみを持つようになり、イエズス様が御母マリア様と共に私達の思ふ願望をききおめひいて下さいますようにお願ひ。司祭と共にミサを獻るようにつとめ、そしてこれら子供たちにつたえます。

聖堂(おみどり)はイエズス様のお家であり、祈りの場所であること、聖櫃(せいびつ)の中のイエズス様は、あなたを可愛がつてみて下さること等を根気よく、くりかえし、くりかえし話せて下さり、丁寧におしきをするように、おしきの仕方をおみせてあげます。

日曜日以外の時にも教会へ来た時には御聖体に御挨拶すること、が自然に出来るようにつとめよう。以上

## 委員会報告

一 夏夏季学校の件

実施日 八月一日、八月三日  
時間 午前九時、午後四時  
場所 中和田教会

いちよう団地五五二〇一  
TEL 〇四六二六七七一七八一

## 磯浜教区才七回宣教会議報告書

テーマ「教区財政の確立を目指して」

今までの日本の教会は布教国として信仰弘布会(いわゆるローマカウ)に多額の援助を仰いで来ましたが、然し経済大国日本になつた現在では援助は期待できなくなつたのです。かかるに財政問題が大きいクロスアップされ信徒の献金問題、納入状態、その方法、予算決算の問題、経理処理、教会維持の問題、昇検討がなされ、このテーマによつてもたらしたものは、今までの余リ口に出さなかつたお金の問題が平気で言えるようになった。

◎ 小教区の会計を信者に詳しく知らせることに、よりその理解と協力が得やすくなつた。

◎ 神父様にまかせたりだった教会のお金のことを皆が自分のこととして考えるようになった。

◎ 何より良かったことは献金の額が増加したことです。一番重要な結論は教会は週に一度お訪ねする所ではなく

并当務者にて日曜日の夜、参拝者(大島)の件は、低年齢に無理とわかれ、残念ながら中止とせざるを得ない。

## 二 教区会の件

日時 十月十四日(土)午後七時  
場所 中和田教会  
河原 七十文以上同様の  
三、六月度 会計報告

## 婦人会だより

子供達の夏休みを目前にし、皆様の御家庭でも御家族そろつてのいろいろな楽しい計画に胸をはずませておられることと思ひます。

七月十五日(日)九時三十分後、婦人会の例会が開かれました。

秋に予定されており、足と講習会について皆様の御希望をお聞きいただきました。遠足は鎌倉方面、教会めぐり、代美術館昇、講習はハッチワーク、手編み刺しゅう等の御希望もありました。次の例会までまだ日教がありますので何か御意見又はご希望などありましたら、お知

自分達の家であることを知つたことだと思ひます。まだまだ解決しない部分は決山残っています。然し信者の方々の努力によつて徐々に解決していくことと、う

## テーマ「青少年の宗教教育」

報告書の内容は色々多くの問題について検討報告されておりますが、ここでは一部抜粋して報告致します。

◎ 中高生が活動できる場、中高生同志が「ともに」を体験できるグループの存在が必ず必要であり、そのために集まれる場所の確保が重要である。

◎ それではどの様な「ともに」を体験できるものがあるでしょうか、先ず土日学校、学連、待着会、青年会、聖歌隊、地録、成会、黙想会、研修会、ボランティア活動等

◎ 援助のかたちとしての活動、たとえば、小学生の土曜学校のアシスタント的活動、これは、彼等自身自覚と責任に基づいて参加する将来リーダーとなるための準備にもなる筈々々